第４学年２組　算数科学習指導案

児童数　　22名

指導者　Ｔ１　轡田　有紀

Ｔ２　中林　阿以香

１　単元名　　　　　広さを調べよう

２　単元について

○　本単元では、面積の概念や測定の意味について学習する。これまでの長さやかさの学習を通して身に付けてきた量の概念や普遍単位の必要感を生かし、測定の段階を踏みながら普遍単位を基に面積を数値化させ、広さを量として捉えさせる。そして、長方形、正方形の面積の求め方を理解し、簡単な図形の面積を公式等を用いて求めることができるようにする。

○　本学級は、学力面において個人差が大きく、作業や理解に時間のかかる子供が数名いる。算数科に対する苦手意識が強いので、興味関心を引く導入を取り入れ、子供たちが意欲的に課題に取り組めるようにする。面積の測定について、直接比較から任意単位による比較まで段階を踏まえながら理解できるように操作活動を重視する。必要に応じて個別支援を行えるようにＴＴで授業を進める。そして、学び合う場では、板書や学習形態等の工夫をすることで、子供たちが自分の考えを表現し、主体的に学ぶことができるようにする。

３　本時の学習（２／11時）

　(1) ねらい

面積の比べ方をいろいろな方法で考え、同じ大きさを基にして比べることのよさに気付く。

(2) 展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 学　習　活　動 | 時配 | 指導上の留意点と評価　評価　<観点>（方法）ｱﾝﾀﾞｰﾗｲﾝは研修主題との関連　（視点）特別な配慮を必要とする子供への支援　☆ | 資料等 |
| 見通しをもつ自分の考えをもつ学び合う振り返る | １　課題を確認する。　・陣取りゲームをしたね。　・順位はどうだったかな。　４つのじん地の広さのくらべ方を考えて、４人の先生の順位を決めようよう。２　広さの比べ方を各自で考える　・見た目で比べる。　・重ねて比べる。　・重ねてはみ出た 部分を切って、さらに重ねて比べる。・ますの数を数えて比べる。　・同じ形のますの数で比べる。３　気付いたことを発表する。　・とは重ねたら、上も横もはみ出る。はみ出た部分をさらに重ねたらが大きい。　・ますの大きさが違っていて比べにくい。　・同じ大きさのますにすると数えられる。４　まとめる。　・陣地は広い方から・同じ大きさのますで数えると分かりやすい。５　学習感想を書く。　・同じ大きさのますで比べると　　正しく比べられる。 |  71020　35 | Ｔ１・前時の学習を想起できるように、ゲーム中の写真を見せ、意欲を高める。・活動に入る前に、比べ方について気付いたことを発表させ、自分の考えをもてるようにする。・切ったり、線を書いたりして考えられるように図をたくさん準備しておく。(視点1)・机間指導をしながら、全体の場で取り上げたい考えを見付け、意図的指名を行う。・理解を確かなものにするために全体の考えをペアで操作し確認する時間をとる。(視点1、３)　　　　　　　　　　　　　　広さは、同じ大きさのますで数えると比べられることに気付くことができる。　　　　　　　〈関心・意欲〉〈発表・ノート〉　　　　　　・「同じ大きさのます」というキーワードを使って振り返るよう助言する。 | Ｔ２☆比べ方が思い付かない子供には、Ｔ１や友達の意見を伝え分解した図で、試してみるように助言する。・子供のつまずきを把握し、比べ方について個別に指導する。(視点1・机間指導をしながら、　習得状況を確認する。・実物投影機を使って説明する際に操作を手伝う。・確認が進まないペアに寄り添い、説明の補助をする。(視点3)・算数日記の振り返り欄を記入するよう助言する。 | 写真拡大図(掲示)拡大図分解した図実物投影機カード |

　(3) 視点

　　・面積の比べ方を考え、説明し合ったり、自分の考えと関連付けたりする活動を行ったことは、子供たちが同じ大きさのますを基にして比べることのよさに気付くために効果的であったか。

４　板書計画

課題

　４つのじん地の広さのくらべ方を考えて、４人の先生の順位を決めよう。

11／１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　先生方の写真

切って重ねる作戦　　ちがうます数え作戦　同じます数え作戦１　パート２

〈重ねる〉　（ますを数える〉　〈ますを数える〉 〈ますを数える〉

ととは重ねると　　分からない　　　長方形　　　　正方形　　　　じん地は広い方から

上も横もはみ出る！　大きさがちがう くらべやすい　くらべやすい　→→→



重ねても、重ならないときがある。重ならずにはみ出た部分をくらべると分かる。

まとめ

　広さは同じ大きさのますを数えるとくらべやすい。

同じ大きさに分けた。

同じ大きさに分けた。

大、中、小に分けたが、くらべにくい。

MEMO

前時に子供たちが４人で陣取りゲームを行います。（１/11時導入）

みんなのゲームが面白そうだったので、先生たち（塚原先生、中林先生、近藤先生、轡田の四人）も実際にゲームをやってみたという設定にします。

板書の一番左の切って重ねて比べた（直接比較）ことが、同じますの大きさで数えて比べる考え（単位量による比較）につながるように、重ねて比べられないとの図形の比べ方について十分な切り返しを行いたいです。